

平成 21 年度技術資格取得講習会

1 概要

会員の技術力向上支援の一環として、技術資格(技術士、一級建築士)を取得した会員による実体験に基づく情報提供や会員の技術資格取得に向けた動機付けを促すことを目的に、開催しました。

(1) 開催月日及び開催場所

①平成 21 年 11 月 6 日(金)

福島テルサ「あづま」(福島市)

②平成 21 年 11 月 16 日(月)

アピオスペース「大会議室」(会津若松市)

(2) 参加者: 34 名



(講義状況)

2 講義内容

(1) 技術士取得について

①技術士を目指して

(日本技術士会東北支部 福島県技術士会 平井良一氏)

- ・技術士制度の仕組み、技術士の義務、試験要領の説明が行われた。
- ・また、二次試験(論文)の受験対策として、起承転結の構成、出題者の意図を踏まえた論文構成、要
点の明確さ、文章の読みやすさ等の必要性について、助言をいただいた。

②技術士になるまで

(福島県土木部河川港湾総室砂防課 主任主査 木田隆典氏)

- ・「技術士に合格したら、大好きな大型バイクの免許を取得する。」との目標を立て、仕事で帰宅が遅くなっても、試験の 1 カ月前は、ほぼ毎日机に向かった結果、口頭試験における資格取得の動機等の質問をクリアし、技術士を取得したとの話があった。

③技術士になるまで

(福島県北建設事務所 主査 矢澤敏幸氏)

- ・二次試験の具体的な対策として、「口頭試験を意識した申込書を記載すること」、「過去問により試験の傾向を確認すること」、「論文には、言葉を正しく用いて、具体的な数字や話題となっているキーワードを入れること」等の助言をいただいた。

(2) 一級建築士取得について

①建築関係資格の概要

(福島県土木部建築総室建築指導課 主幹 但野広氏)

- ・県が特定行政庁としての機能を維持するには、審査を行う職員が一級建築士や建築基準適合性判定資格者の資格を取得することが必要であるとの話があった。

②一級建築士の取得について

(福島県土木部建築総室建築指導課 副主任建築技師 宮谷智仁氏)

- ・一級建築士の試験概要の説明とともに、設計製図試験問題の紹介があった。
- ・また、「資格学校利用における長所と短所」、「インターネットを活用した勉強方法」等の説明があった。

③「建築関係資格の概要」

(福島県土木部建築総室建築住宅課 副課長(兼)専門建築技師 蓮沼敏郎氏)

- ・資格取得者は、現場経験が少なくても一定レベルの能力があると認められる背景から、「技術者としての自立の第一歩は資格取得である」との話があった。

④「一級建築士の取得について」

(福島県土木部建築総室建築指導課 副主任建築技師 國分大介氏)

- ・設計製図試験を突破するには、「合格者の図面をよく観察すること」、「演習を細分化して行うこと」、「イメージトレーニングを行うこと」、「休暇を利用して勉強を集中して行うこと(勉強漬け)」、「仲間探し」、「失格した場合の対応策」が必要であるとの話があった。
- ・また、設計製図試験は 6 時間半にわたる長期戦であり、試験終了後は精魂ともに尽き果てるため、集中力や体力も必要であるとの話があった。